

令和5年度（2023年度）  
第1回 沖縄歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会

日時：令和5年12月20日（水）  
20:00～21:45

場所：沖縄歯科衛生士学校  
3階 B教室（3年生教室）

【出席者】

上江洲 朝 男	琉球大学教職センター 教授	教育・学術機関
仲 程 尚 子	沖縄県歯科衛生士会 監事	業界団体代表
武 富 良 悟	株式会社 沖縄歯科器材 専務	企業
平 敷 幸 浩	沖縄北谷自然海塩株式会社 専務取締役	企業
松 園 あかね	NPO 法人 キャリエイト 理事	教育・学術機関
米 須 敦 子	沖縄歯科衛生士学校 校長	オブザーバー
中 地 昭 雄	沖縄歯科衛生士学校 副校長	〃
齊 田 穰	沖縄歯科衛生士学校 教務部長	〃
志喜屋 やよい	沖縄歯科衛生士学校 教務副主任	〃
伊 藝 律 紀	沖縄歯科衛生士学校 専任教員	〃

## 次 第

司会進行：齊田 穰

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 出席者紹介
4. 報告事項
  - (1) 令和4年度（2022年度）（第33期生）卒業生の状況
    - ① 国家試験
    - ② 就職状況
    - ③ 卒後アンケート 報告資料
5. 協議事項
  - (1) 令和5年度（前期）学校自己評価結果について 資料-1
    - ① 学校教育目標・重点努力目標について
    - ② 評価項目I～Xについて
6. 次回開催について
7. 閉会

# 第1回 学校関係者評価委員会報告

## I. 重点目標について

- ・特に変更無し

## II. 各評価項目について

### 1. 教育理念、目的、人材育成像

- ・ハラスメントに関しては、教職に就く学生には教育実習前に指導する。今後このような指導を組み込んだ方が良いのではないか。

### 2. 学校運営

- ・特になし

### 3. 教育活動

(目標の設定等)

- ・特に問題なし

(教育方法・評価等)

- ・口頭(耳からの情報)だけで理解して把握する事が難しい学生が増えている感じがする。視覚からの情報が多い必要な学生が多いと感じる。・手書きで書くよりもスマホ入力だと文字数が増えるので、そのような工夫を取り入れる必要も有るのではないか。
- ・Z世代の理解について、教育専門の講師を招いて講師全体で情報共有ができると良いのではないか。
- ・授業評価は、数値評価だけではなく、変えて欲しい所(内容)を書く等の工夫が必要ではないか。例えば「スライド文字の大きさや講義中の声等」

(資格試験)(教職員)

- ・特になし。

### 4. 学修成果

- ・特になし。

## 5. 学生支援

- ・ 育児等で離職し、復帰予定の卒業生へ、学園祭への呼びかけができれば良いのでは。
- ・ 技術的な支援、再就職支援に繋がらないか。
- ・ 社会状況の変化、雇用体系の変化等の情報が入りにくい卒業生への支援の必要性。
- ・ カウンセリングの方法について、一年次で全員に対して10～15分程度実施してみて落ち着いてから2ヵ月に一度とかにしてみると等相談しやすい環境作りの工夫も必要ではないか。

## 6. 教育環境

- ・ 特になし。

## 7. 学生募集

- ・ 特になし。

## 8. 財務

- ・ 特に問題なし。

## 9. 法令等の遵守

- ・ 特に問題なし

## 10. 社会貢献・地域貢献

- ・ 特になし。

## その他所見

- ・ この評価は2020年から開始しているので、縦の評価（数値）だけでは無く、3～5年毎に折れ線グラフにして長いスパンで評価をしてみる必要もあるかも知れない。成果・課題・改善方策というように、課題があって改善方策をしたけれど、それが成果に繋がったかという事が本当は大切。
- ・ 課題とか、成果があった場合、具体例を1～2あげておくと再度検討する事（物）の優先順位について、手順等が見えやすくなってくると思う。
- ・ 合理的配慮については、授業される講師の先生方も知っておく必要があるのではないか。